

農林×昆虫×テクノロジー ＝地域循環共生圏

～小豆の収穫残渣が、命をつなぐ。～

THE BEAN BEETLES

現状



森林伐採に伴って幼虫の餌が減少し、クワガタムシが減っている、

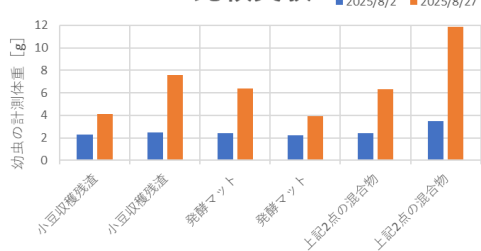
焼却処分される
小豆収穫残渣
(茎、葉、さや)が
毎年大量に発生！

粉粒化して
餌にしよう！



木の中に住んでいるクワガタムシの幼虫が草を食べるというデータはどこにも見当たらなかったが、小豆収穫残渣、発酵マット(広葉樹)、これらの混合物の三種で比較実験を行ったところ

比較実験



食べることが
確認できた！



地域循環共生圏 構築の可能性

【画像解析システム開発の様子】



クワガタムシの好む暗さ、赤色、波長可視化・解析する

関連する
SDGs



- ・余剰な小豆収穫残渣を直接活用することで、北海道の広大な自然・生態系の回復への貢献と持続可能な食糧生産への貢献が両立できる。
- ・小豆以外の作物残渣も活用できれば、地域循環共生圏構築の可能性が更に広がる。

持続可能な資源活用モデル
としての社会実装